

広聴特別委員会記録

令和 6 年 1 2 月 1 7 日

【開催日】 令和6年12月17日(火)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前9時3分～午後0時7分

【出席委員】

委員長	森山 喜久	副委員長	前田 浩司
委員	奥 良秀	委員	白井健一郎
委員	中島 好人	委員	藤岡 修美
委員	宮本 政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松 秀樹		
----	-------	--	--

【事務局出席者】

事務局次長	石田 隆	事務局参事	河口 修司
-------	------	-------	-------

【審査内容】

- 1 広報特別委員会が実施した議会モニターへのアンケート結果の送付について
- 2 9月定例会の市議会・モニター意見交換会報告書について
- 3 9月定例会の議会カフェ報告書及びアンケートの集約結果について
- 4 これまでの議会モニター意見交換会のまとめ（令和4年7月～現在）
- 5 12月定例会の議会モニター意見交換会について
開催方法、日程
- 6 12月定例会の議会カフェについて
開催方法、日程
- 7 その他

午前9時3分 開会

森山喜久委員長 機器の不具合により、少々遅れましたが、ただいまから広聴

特別委員会を開会いたします。それでは付議事項の1番になります。広報特別委員会が実施した議会モニターへのアンケート結果の送付についてです。ページをめくっていただきまして、広報特別委員会が市議会モニターに対して行ったアンケート調査結果、令和4年9月29日実施分につきまして、広報特別委員会からこのような取りまとめを行ったということで広聴特別委員会に提出がありましたので、市議会モニターにアンケート結果を送付したいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、送付ということで決定いたしました。次に、付議事項2番9月定例会の市議会モニター意見交換会の報告書についてになります。ページは6ページになります。10月17日に開催しました市議会モニター意見交換会の報告書で、事前に資料は送付させていただいておりますので、確認はしていただいていると思います。その中で皆さんからの疑問点、これが足りないんじゃないかという御意見等がありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、こちらにつきましては7番の今後検討すべき意見としまして、モニターから出されました議会傍聴された中学生からのアンケートや中学生との意見交換の中で、「いっぱいよいことを発言している」、「中学生との意見交換の内容を取りまとめてこれを議員全員で話をしていないようだが話合いをしてほしい」、「中学生の言ったことは的を射ている」ということを今後の検討すべき意見としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

白井健一郎委員 これは、市議会とモニターとの意見交換会の報告書ということで、市議会の広聴特別委員が代行するということで、モニターとの意見交換会をして、それを議長に報告するという報告書ですよね。このまま議長に報告するとしても、もちろん構わないんですが、広聴特別委員の7人はその場に出席してますし、ただ、ほかの議員に伝える必要があるのかどうかということについて、審議してもらいたいと思います。付け加えますと、やはり重要な意見も多いわけです。それを広聴特別委員会で共有するだけで、果たして済まされるのかという問題について検討していただきたいと思います。

森山喜久委員長 この間、市議会モニターの意見交換会とか議会カフェの報告書とかの関係は、全議員が見られるようにしております。それでもあえてということでしょうか。白井委員、その辺はよろしいですか。

白井健一郎委員 最終的には委員長にお任せします。もちろん全議員のタブレットに資料は入ってますけれども、タブレットに入ってるからといって、皆さんが自分が入っていない委員会の資料まで全部目を通すかは分かりませんので、重要度に応じて、例えば、この市議会モニター意見交換会の報告書が重要であるならばこれも一読しておいてほしいというような連絡をすべきかどうかという点も考慮していただきたいと思います。一任いたします。

森山喜久委員長 そちらにつきましては、本会議の最終日に市議会モニター意見交換会、そして議会カフェの報告書それをこちらのどこのファイルにあるということを含めて、全議員に周知したいと思います。それでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、意見交換会の報告書につきましてはこちらでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、一旦暫時休憩を取らせていただきます。

午前 9 時 1 0 分 休憩

午前 9 時 5 4 分 再開

森山喜久委員長 それでは、暫時休憩を解きまして再開いたします。別紙の資料になりますが、中学生との意見交換会でA班、B班の中学生との意見交換で示されておりますが、このたび広聴特別委員会では市への要望、提案の項目についてどう取り扱っていくのかということを皆さんと協議していきたいと思います。取りまとめたものをどう取り扱うかということで、A班の市への要望提案というところをどうするのかというところで御意見を頂けたらと思います。そのまま市へ要望していく形を取るのか、

議会としても取り扱うのかというところで。

宮本政志委員　今の委員長の説明がよく分からない。市への要望として取り扱うのか、議会として取り扱うのかということをもう少し詳細に教えてください。どっちにしたって、議会が取り扱わなければいけないのではないかと思います。

森山喜久委員長　担当委員会が所管するものであれば、担当委員会で取り扱っていただきたいと思いますし、意見によっては、そのままで要望という形で提案をしていくようになるかと考えてます。このままのものか、さらに常任委員会の所管で協議をしていただくかというところです。例えば、最初の「娯楽施設が少ない」ということの意見であれば、委員会に振るというよりは、今こういうふうな娯楽施設が少ないという意見が出ていると。若い女性からのそのような意見が出ているということで、示す形になるかと思います。その辺で皆さんの御意見を頂けたらと思います。

宮本政志委員　委員長としては、こういう意見が中学生から出てますよっていうのを市に対してどういう形で出そうとするのか。議長名で出そうとするのか。どういうふうな流れで。（「それをみんなが出さないと。委員長を詰めてもしようがない」と呼ぶ者あり）（「その辺を言ってあげないと」と呼ぶ者あり）

森山喜久委員長　素案になりますが、5 ページ、6 ページになります。5 ページで、議会傍聴をした中学生からの意見としまして、「子育てに力を入れたら戻って来たり、移住したりする人も、増えてくるのではないか」という意見につきましては、総務文教と民生福祉の常任委員会に振り、「ユニークな仕事場が増えたら、若い人が集まるのでは」という意見につきましては、産業建設常任委員会、「少子化対策で小中一貫校になっていくのか、疑問」ということにつきましては、総務文教常任委員会、

「給料の高い会社や大企業があれば戻ってくるのかも」と「スポーツができる会社があれば良い」という２点につきましては産業建設常任委員会に振りまして、それ以外に「自分たちの市の特徴となるものが欲しい」以下の要望につきましては、市に要望として出していくものとともに、中学生たちが「山陽小野田市の魅力とか特徴というのは何ですか」という問いかけがあることに対して、議員としても考えなければいけないのかなというものがありましたので、その２点につきましてはアンダーラインを引かせてもらっております。今、示したように、担当委員会に振るもの、市のほうに要望として振るものという形で、素案としては示させていただけたらと思います。それについての御意見をお願いいたします。

白井健一郎委員　まず、広聴特別委員会の役割を考えてみたいんです。単に市民から広く聞いたもの、これが広聴です。それを所管の委員会に振るだけが仕事でしょうか。やっぱりある程度中身も話し合ってこそその委員会だと思うんです。せっかく時間を使ってやるわけですから。所管委員会に振るだけだったら、委員長、副委員長や事務局の方にやっていただければいい。わざわざ集まる必要もないのではないかと思います。ですから、量も今日だってかなりあります。原稿用紙に換算したらこれ１枚が原稿用紙４枚分になりますので、１６０枚分の原稿用紙の量を先週の金曜日に配られて、今日やろうって。これは我々もできるかどうか分からない量なんです。ですので、もう少し委員長、副委員長で選択と集中をしていただいて、この場で議論すべきことをもっと絞って、あと、我々が集まらなくてもできることは、別途していただくということと選択と集中をもう少し考えていただきたいと思うんです。この中学生との意見交換でいうならば、例えば、「スポーツができる会社があればよい」とかあります。「ユニークな仕事場が増えたら若い人が集まるのではないか」、これを担当委員会に振りましょうかではなくて、ある程度私たちの中で意見交換してそれで済むならそれを答えとして返すし、全部割り振っていうのもまた大変な作業だと思うんですよね。受ける側もとい

うことを意見として言いたいと思います。

森山喜久委員長　それで、先ほどのモニターの意見にも出てきたんですけれど、そういった意見を取りまとめて話合いをする中でしてほしいという形がありましたよねと。その中で今それを抽出した形で皆さんにお示ししたと。それについて、今後どういうふうに取り扱うかという意見を頂きたいということで振ってるんです。それについて白井委員はどのように考えているか教えてください。

白井健一郎委員　追加資料ですけれども、中学生との意見交換で「議場の雰囲気」で「議場に音楽を流す」とあります。これは何でスルーされているんですか。これは簡単に私たちの中で話し合って、いいと思ったら取り入れることができないのか。また、全議員に振ったらいいいし、何らかの機会を設けて議事進行の全般に対する工夫できないのかなという思いがあります。例えば、この「議場で音楽を流す」ってことで話し合ってみたらどうでしょうか。

森山喜久委員長　白井委員としては、「議場に音楽を流す」ということで、それを皆さんと議論していきたいということですか。

白井健一郎委員　そうなんです。だから、今日は付議事項が七つあるのでボリュームがあります。それを全部一つ一つ確認していませんが、市民の声が100にとどまらない数を今日は扱いますよね。だからこそ、選択と集中をあらかじめしていただいて、我々がここで実際に話すべきことをしっかりまとめてもらわないとうまくいかないと思うんです。具体的に、「議場の雰囲気」、「議場に音楽を流す」ってことがなぜ無視されてるんだっていうことを言いたいんですよ。一番上に、A班の中学生との意見交換会、「議場の雰囲気」、「議場に音楽を流す」ってありますから、まずここから順番にやっていこうかなって思うわけです。

前田浩司副委員長 中学生の方から頂いた意見が18個ほどありまして、まず、誰にこの情報を流していくかということです。執行部宛てにお伝えするという部分と議会としてどのようにして動いていくのかというこの2点の中で、話を詰めていかないといけないと思います。まず執行部に対しては、例えば、中学生が言われた内容18項目そのものをお伝えする。あとはどのような手法で伝えていくのか。議会の中の委員会に、例えば、どの項目をどの委員会に振っていくのかという2点で詰めていただければということで、話の方向性を統一していただきたいということで要望いたします。皆さん方の御意見をお伺いいたします。

宮本政志委員 委員会の進め方をまとめてほしい。さっき委員長は、市への要望、提案についてはどうかってまず委員会にかけたよね。今、白井委員は全体のことを言っているよね。それから、この市への要望、提案を各所管に振るんじゃないかって、まとめて議会として執行部に送るっていう案を選択肢として一つ委員長は言われた。そうではなくて、ちゃんと意見は扱いましょう、それぞれ意見を振り分けしましょう、どうなんでしょうかってこと。そうすると、市への要望、提案として扱おうとしとったのに、全部どっかに振ろうっていう話になったり、あるいは全部まとめて議会として市のほうにこういう意見が出ましたよって送ろうかということ。何もかもがごちゃごちゃになって委員会が進められている。だから話が広がるからどれかに絞って行って、一つ一つ委員会を進めていかんとぐちゃぐちゃなりよと思う。先ほどから言うけど、副委員長にも疑問があって、執行部にこういう意見が出ましたよって送るのも、議会として送るわけでしょ。だから、議会の委員会だから議会としてどうするのかっていう前提です。私は、市への要望、提案とか、あるいはそれも含めて全部こういう意見が出ましたよっていうだけでひとまとめにして、議会としては執行部にこういう意見が中学生から出ていますから、あとはよろしくっていうのはよろしくないと思う。これはやはり精査をきちっとして行って、これは産業建設常任委員会とか、これは総務文教常任委員会だとか、ここは先ほど例えば、白井委員が言った「議場に音

楽を流す」っていうことを検討するのは議会運営委員会とか、そういうすみ分けをきちっとやっていく。数が多かろうが時間がかかろうが、300やらないといけんから、50時間やらないといけんから簡素化していきましょうよというのは、議会として、議員としてはもってのほか。せっかく中学生が意見をくれたので。その辺りっていうのをどういう方向性でいきますかっていうこと。僕はちゃんと精査して、持っていく所管のところは持っていくってことをしたほうがいいと思う。まとめて執行部に議会として送るっていうのはちょっと粗いと思う。

白井健一郎委員 先ほど、副委員長がおっしゃられたんですけど、市民から市への要望を聞いたときに、それを執行部に伝わればいいっていうそんな話ですか。議員に問いかけられたんだから、議員とか議会がある程度考えをまとめて市の執行部に返すのかどうか。我々だって一応政策形成機能を持ってるわけですから、そういうことなんですよ。（「先ほど白井委員が言ったこの広聴特別委員会の役割は何ですかっていうところを再確認しておかないと、やるのか、やらなかったのがずっと続いている」と呼ぶ者あり）

中島好人委員 5ページに中学生の意見が五つありますよね。それで今、白井委員から、例えば、「議場で音楽を流す」っていう例ですけど。項目としては必要ないと思って削ったんですよね。

森山喜久委員長 市への要望や提案について、広聴特別委員会として、今、出ているA班、B班の中学生との意見交換会については、広報特別委員会がAスクエアにおいて中学生との意見交換を2班に分けて行われました。それを取りまとめられたのがA班とB班の意見です。その中で、議会だより等につきましては、広報特別委員会に取りまとめが行われているんですけど、このたび、広聴特別委員会としまして、この市への要望、提案の項目についてどのようにするか、どのように取り扱うかという形を皆さんと一緒に協議していきたいと。どう取り扱うかということをし

せていただいているつもりです。その中でしっかりと取り扱う形で、案として各委員会に振るという形で5項目、それ以外の項目を市への要望で取り扱ったらどうかという形で上げさせていただいておりますが、ただその中で要望に取り上げておりますが、いやいやこれはちゃんと担当委員会で協議をしようじゃないかという意見も含めて、意見があると思いますので、そちらの意見を頂けたらと思います。

中島好人委員　だから、議会運営委員会に諮るっていうのも、今の「議場に音楽を流したらどうか」っていうのは初めから消えているわけだから、入っていないのは必要ないと判断したのか、ここに「スポーツができる会社があればいい」とあるその下に、「議場に音楽を流したらいい」ということを入れて、右側に議会運営委員会と入れるのか。委員長、副委員長でこれは振り分けない、審議しないというふうに判断した。白井委員が入れたらどうかっていうふうにいうから、だから僕もここに入れたらいいんじゃないかなというふうに思う。

宮本政志委員　市への要望と提案というものに関して、委員会にかけたわけでしょう。まとめて、どっかに振り分けをしないで、まとめて議会として市に渡しますかというのが一つ言われたわけ。もう一つは、市への要望、提案を振り分けられるのであれば、振り分けていきますかっていうのが二つ目の方法としてどうしますかって言ってるんでしょう。それ以外に、例えば、A班で言ったら「議場の雰囲気」、議会だよりは広報特別委員会だけど、「議場に音楽を流す」というのはどうするんですか。市への要望、提案だけでいいんですかっていうのを分けて議論したらいい話。だから、取りまとめて、議会として執行部に送りましょうとするのか、それぞれ分けていきますかっていうところを委員長がかけたのよ。どういうのを扱っていきますかって、市への要望、提案だけじゃなくて、A班の「議場の雰囲気」も必要じゃないんですか。これもちゃんと振り分けて決めていくべきじゃないんですかっていうところ。議論に入っていけばいいわけ。一つ一つやらんと。

森山喜久委員長　それでは全体を通して、全てのものを市への要望、提案として送るのか。もう一つの案としまして、担当委員会に振り分けをしなから、市への要望としていくものはしていくという形に振り分けるか、どちらのほうにいたしましょうか。

宮本政志委員　「どちらのほうにいたしましょうか」ではなくて、それは先ほど白井委員と私は言いました。私は、「これをまとめて、市のほうにっていうのは駄目ですよ」と、「きっちり振り分け先を議論していきましょう」って言いました。白井委員は先ほど担当のことを、振り分けのことを言ってるわけですね。そうすると後の方は、まとめて送りましょうってされるのか議論して、振り分け先を決めていきましようかっていうところ。

森山喜久委員長　それで、ちゃんと取り扱うということで振り分けていくという御意見もありましたが、そちらの方向でよろしいですか。

藤岡修美委員　委員長がまとめられた市への要望、提案というのはA班、B班のそれぞれ市への要望、提案に書かれたのを整理して、また一覧として、市への要望、提案で出されているわけで、これを最初は振り分け、担当委員会に振り分けてっていう議論だったと思うんですけど、それが途中からA班、B班はそれぞれの中島委員から出たんですけど、「議場に音楽を流す」っていうのは、議会に対する要望と思う。

前田浩司副委員長　私は振り分けを希望いたします。しっかり各委員でしっかり詰めて、やっぱり執行部のほうに議会としての意見も混ぜてお伝えするのがよろしいと思います。

森山喜久委員長　暫時休憩をさせていただきます。

午前10時17分　休憩

森山喜久委員長 それでは暫時休憩を解きまして再開いたします。休憩前に話しましたが、中学生の意見交換会の意見につきましても、担当委員会に振り分けるかどうかについて、意見を頂けたらと思います。いかがでしょうか。

奥良秀委員 このまま市のほうに意見として伝えても、もう少し精査をしてよく議論したほうがいいと思います。議会のほうでももう少し精査したほうがいいと思います。

森山喜久委員長 改めてこちらについては、内容も含めて、内容を精査してどうするかを決めたらいいという意味合いですか。

奥良秀委員 市のほうに要望を出すのか、担当委員会に振り分けてやるのかというので、担当委員会に振り分けてやったほうがいいと思います。

森山喜久委員長 それでは、担当委員会に振り分けていくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、担当委員会に振り分けをしていきたいと思いますが、私が冒頭に、市への要望、提案事項のみと話をさせていただいたのですが、その中で「議場の雰囲気」といった意見も踏まえて、どうなのかという御意見もありました。その議論をすべきという話もありましたが、それをどうしましょうか。A班につきまして、議会だよりに関しましては、広報特別委員会の所管になりますので、広聴特別委員会では取り扱わないとしたいと思いますが、B班につきましても議会だよりの関係は取り扱わないとしますが、それ以外の項目でどのようにするかという御意見を頂けたらと思います。「議場の雰囲気」という関係が出ています。白井委員に確認なんですが、広聴特別委員会としてもう少し意見交換をするべきという意見なのか、担当委員会を含めて諮るということなんでしょうか。

白井健一郎委員 何も公的にどういう手続を踏むという難しいものではなく、
広聴特別委員会で少し話をしてみて、例えば、中学生が言われた「議場に音楽を流す」っていうのは、どういう時間帯に、どういう音楽を流すというイメージなのか。あるいは、これを受け止めて、もう少し幅広くこちらの考えることはできないだろうかくらいは、話し合った中で、これは広聴特別委員会で据え置きましょうとするのか、議会運営委員会に諮りましょうかってするのかという区別をするかです。その辺を柔軟に。中学生を含んだ市民の要望っていうのは、ただ単に我々がストロー役のように担当委員会に割り振るだけではなくて、委員長が差配してちょっと話してみる機会もつくっていただきたいと思います。

中島好人委員 そういう思いがあれば話してもいいと思う。だけど、広聴特別委員会で決めるというのはいかがなものかと思う。専門の委員会があるわけですから、委員会としてもきちっと振り分ける必要はあると思う。だから、振り分ける際に、これはいいことだと思うなどの結論までは広聴特別委員会で出すものではないと思う。白井委員は、「少しは話してもいいんじゃないか」ということですが、それはそれでいいと思う。結論までは広聴特別委員会で出すものではないと思う。

森山喜久委員長 そのような意見も出てますが、ほかの皆さんはいかがでしょう
うか。

奥良秀委員 音楽を流すということなんですけど、白井委員が言われたように、
どういったときにどういった音楽を流すのかは、この文章だけを見てもよく伝わらないですね。だから、担当委員会が資料をつくってきたと思うので、前段階として、どういう状況でこういう話が出たというところが分からないと、「議場に音楽を流すべきではないか」と言われても担当委員会も困ると思うので、その辺は精査できればと思っています。

白井健一郎委員 具体的に入ってみますと、例えば、議場に音楽を流すことのイメージとしては、本会議が始まる5分前までクラシック風の音楽を静かに流して、落ち着いた雰囲気をつくるというのをイメージするんです。イメージが共有できたら、委員会にも振り分けやすいです。また、中学生の意見ですから、市の役割なのか、議会の役割なのかのもはっきりしていないところもあるだろうし、例えば、娯楽施設が少ないとかスポーツできる施設がほしいとか言われても、専門的にただ却下するというのも非常に冷たい対応だと思うので、我々で意識や意見を共有してみてもどうかということを委員長の差配でできないかなと思います。

奥良秀委員 今、言われたのは白井委員が推測で言われたんであって、あくまで、中学生の意見交換会の中で、「議場に音楽を流す」という意見が出たということで、その部分で白井委員の推測があっているのか、もっと違うものがあるのかっていうのを確認して、精査して、それが必要なものであるのならば、担当委員会のほうに振り分けをされたらいいのではないかと思います。

宮本政志委員 奥委員の言われるのはごもっともと思う。この内容では、「議場に音楽を流す」という言葉だけを中学生が言ったのか、その前後があったりもう少し詳細があったのか、広報特別委員会が実際に聞いたわけですから、もう一度広報特別委員会にこのあたりを相談してみたらどうですか。広聴特別委員会の正副委員長が記録を見てつくり変えるのか、そもそも広報特別委員会が丁寧につくるべきでしょう。だから、広報特別委員会の正副委員長と話をして、この内容が分かるものを提示してほしい。だから、奥委員が言われるのもごもっともです。ただ、白井委員が言うのも間違いじゃない。記録を見て精査したけど、「意見交換のときは、この議場に音楽を流すとしか受け止められなかったんですよ。」であれば、聞き流すのか。白井委員が言うようなイメージで多分こういうことを雰囲気で言ったんじゃないかということをそれぞれの委員が頭の中で描いて、それを議論するのも別に悪いわけじゃない。その辺りも

踏まえたら、結論としたら「市への要望、提案だけでなく、広聴特別委員会に関わりがあるところは、A班もB班も含めて、この広聴特別委員会で取り扱っていきましょう」というのは決まったよね。詳細については、奥委員が言うとおりに思うよ。もう少しこの内容を具体的に委員会に示してくれって言うのは、そのとおりに思う。それから、ここは広聴特別委員会で議論していきましょう。その議論の中で振り分けだけじゃなくて、白井委員が言うのも当たっていると思う。ただ、「これは産業建設常任委員会、これは総務文教常任委員会」だけでなく、例えば、結果的には総務文教常任委員会に送ったんだけど、それに当たってはこの広聴特別委員会の中でその意見に対してはいろいろな議論をする。先ほどから副委員長も中島委員も話すと話すって言うけど、ここは委員会で議論の場です。「話す」じゃなくて、そういったところも踏まえて議論していけばって言うこと。まず、この内容が本当にこれだけかどうかということが分からない。もっと詳しいもの出してほしい。

森山喜久委員長 分かりました。そちらにつきまして、広報特別委員会に確認をして、会議録も含めて確認をしていきたいと思います。では、それを確認した上で、改めてこちらについて、中学生の意見交換会の内容を今後どうするかという議論をさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、付議事項2番についてはそのような形を取らせていただきます。では、付議事項3に行きます。9月定例会の議会カフェの報告書及びアンケートの集約結果ということになります。報告書①になりますが、10ページになります。こちら全部で報告書①につきましては、7枚になりますが、事前にまた確認はしていただいたと思いますが、内容はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、報告書①につきましてはよろしいですか。

白井健一郎委員 質問、回答はいいんですけど、意見、要望をどういう形にまとめるのか。このまま報告書を出して終わりという形にするんですか。

森山喜久委員長　こちらについては前からも言っておりますが、その意見報告書の関係は議長のほうに出すのが一つ。そして各委員会にも振っていきます。改めて、議会の資料としてタブレットに載せているということは、明日の最終本議会でも報告をさせていただきます。

白井健一郎委員　確認ですけど、要望は所管の委員会に割り振るんですか。

森山喜久委員長　書き方になりますが、総務文教常任委員会では、令和５年度に実施した地域運営組織形成に向けた財政的支援と支援員の配置の項目、そして災害応急工事事業を増額補正した項目、その他で、例えば、意見とか要望が書いてあるその中で、総務文教常任委員会ですべて所管してくださいという形で、この間もさせていただいてきたと認識しております。

白井健一郎委員　確認ですけど、そういう要望をどういうふうに割り振るかについてについては、この委員会にかけずに委員長にお任せということになるんですか。

森山喜久委員長　ですから、それを皆さんに事前にお配りして、この要望の内容は総務文教常任委員会がいいですかと、これは総務文教常任委員会ではなくて、例えば産業建設常任委員会ではないかとか民生福祉常任委員会ではないかという意見があれば、指摘してくださいと言っています。ただ、私の進行の仕方がまずいから分かりにくいと言われたら申し訳ないです。

白井健一郎委員　くどくなって申し訳ありませんが、例えば、総務文教常任委員会の所管の分だとこの広聴特別委員会の中の総務文教常任委員会の委員が見てるはずだっという認識ですか。

森山喜久委員長　議会カフェ報告書①の１ページで、各テーブルの意見で総務文教常任委員会関係という形での取りまとめで、ＲＭＯの関係は２ペー

ジにあります。3 ページで災害応急工事事業を挙げてます。その他は総務文教常任委員会に対してのその他ということで挙げさせていただいてます。例えば、一番下に要望として厚狭複合施設のアリーナにエアコンをつけてもらいたいという項目がある。これについては、総務文教常任委員会で要望がありましたという確認をしてもらうことになります。同じように、民生福祉常任委員会は民生福祉常任委員会のその他での意見、要望、産業建設常任委員会についてもその他での意見とか要望があるということで、報告書は作成をさせていただいているつもりです。

白井健一郎委員 分かりました。総務文教常任委員会の論点が二つあって、最後にその他ということで要望が一つあります。厚狭地区複合施設のアリーナにエアコンをつけてもらいたい。これを総務文教常任委員会で引き受けるっていうことは、意思疎通はされているわけですか。

宮本政志委員 案として委員長が出している。例えば、「厚狭地区複合施設のアリーナにエアコンつけてもらいたいというのは、総務文教常任委員会でなくて民生福祉常任委員会でしょう」という意見があったら言ってくださいっていうこと。この意見、要望に関しては、「これは総務文教常任委員会に送ります」、「こっちは民生福祉常任委員会に送ります」、「これは産業建設常任委員会です」というような案はどうですかっていうところだけ。もし、これはここじゃないかっていう意見があったら言ってくださいっていうこと。

白井健一郎委員 了解しました。

森山喜久委員長 それを踏まえて報告書①についてはよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、①については確認できたと思います。それでは②に移りたいと思います。17 ページになります。それでは、資料②につきましたは、いかがですか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、資料②についてもこれで行かせてもらいます。それでは資料③に行きま

す。報告書③についてはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）これで、確認したということで。それでは、資料④で28ページになります。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、④もこれで確認をさせていただきます。35ページになりますが、報告書⑤になります。⑤はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは⑤までは確認ができたと考えます。あと、追加資料3で、議会カフェのアンケート集計結果をこのたび、全体で118人の方が参加されまして、113枚の回収状況です。2ページに移りまして、報告動画の配信内容のところで、「大変満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、無回答の各項目の中で、自由意見をこのたびから設けさせていただいたので、その項目の内容を列記させていただいています。それを報告動画の配信の内容と意見交換会の内容と時間配分、議員の対応で振り分けをさせていただいたんですが、報告動画の内容を含めて、基本的に「よかった」とあったんですが、質疑が聞き取れないとか、早いとかという御意見もあったと認識しております。あと、意見交換会の内容もおおむねよかったという意見だったと認識しておりますが、時間配分は、「やや満足」という意見を頂いた方々も少し時間が短いとか、もっと時間が欲しいと言われながら満足されたということになるんですけど、基本的に不満だった方々は時間が短いという御指摘だと認識しております。議員の対応につきましては、大多数の方が「満足」、「やや満足」という形ではあったんですけど、その回答の仕方とか対応で若干悪かったのが見受けられるのかなと思っております。6ページに集計結果と議員からの紹介の一覧を載せています。7ページからは自由記述欄で、「議会カフェの開催について」、「内容について」、「進め方について」、そして、「要望、その他」という形で、項目を分けて整理をさせていただきました。その中で、民生福祉常任委員会の所管であろうことと、産業建設常任委員会の所管であろうことについては、抜き出させていただいております。民生福祉常任委員会につきましては、「高齢者が増えている現状を見て、具体的な方策を検討してほしい。特に医療関係。」、「市民病院に不安に対しては早く答えを出す必要があること」とあります。こちらについ

ては、先ほど確認をしてもらいました議会カフェ報告書①の3ページから5ページの民生福祉常任委員会のところに、市民病院の決算についての要望とか、その他の質問、回答を参照してくださいという内容で、ページも振って書いてありますし、議会カフェ報告書②から⑤についても書かれていると理解していただけたらと思います。同じように、産業建設常任委員会につきましても、「船鉄バスの利用について、理科大の学生は無料で、よい制度だと思います。老人、特に運転免許証を返納した人を対象にして無料にしてほしい。バスの便、バス路線について、もっと市民の声を聞いて進めてもらいたい」という意見がありました。それについては、議会カフェ報告書②の4ページに、産業建設常任委員会関係でその他になりますが、質問、回答、意見、要望を示させていただいておりますので、そちらでまた内容を確認していただきたいと思います。そのような形でこのたびの議会カフェのアンケートをまとめさせていただきました。これにつきまして、皆さんから御意見とかがあれば頂けたらと思います。

中島好人委員 このたびの特徴としては、初めて専門部っていうか、対象を絞って小野田青年会議所などとやったわけです。通常の議会カフェのアンケートと団体の議会カフェのアンケートを分けたほうがいいのではないかなと思う。司会をしていても、青年は議会の内容が分からないので、ずっと説明するような形になったわけです。青年と話をするときには、説明する形が多かったんです。それと通常の議会カフェと一緒にたにしないほうがいいかなあと感じたんです。

森山喜久委員長 今、言われるのは、このアンケートの集計結果をそれぞれ分けたほうがいいということですか。

中島好人委員 通常の議会カフェのアンケートと専門部のアンケートの分とです。

森山喜久委員長 このアンケートは、分けたほうが良いという意見でよろしいですか。

中島好人委員 せっかく対象を絞って、対象の人の意見も聞いたわけですから。要望なども内容的に違う感触を受けたんで、まとめもそういうふうに分けたほうが良いかなというふうに感じたんです。

白井健一郎委員 今の中島委員の意見とも似ていますが、この報告書やアンケート集約結果にとどまらず、今までこの9月定例会より前は一般市民を対象に4回開いていたと。今回は一般市民への報告会を2回にして、特定の団体を三つ行ったということでやっぱり変えてるわけですから、一般的な総括として、それが果たして成功したのかどうなのかっていうことをやっぱり論じないといけないと思いますが、どうでしょうか。

森山喜久委員長 その団体との意見交換会がどうだったのかを論じるという形がありますが、中島委員はあくまでアンケート集計結果を一般の市民と行ったものと団体と行ったものを分けたほうが良いのではないかとこの御意見でよろしいですか。

中島好人委員 内容を変えるとかじゃなくて、要するにアンケート集計結果を分けましょうということ。

森山喜久委員長 まずは、そちらを整理させてもらいたいと思います。皆さんはどのようにお考えでしょうか。アンケート集計結果も一本でいいじゃないかというのと、二つに分けていったらどうかという御意見がありましたが、いかがでしょうか。

宮本政志委員 今の話は集約方法ですね。集約結果についてまず委員長が聞かれたんで、気になったのが5ページの一番下の不満で態度の悪い方がいたっていうのは議員のことを言っとるはずなんだ。別に名前を出さなくてもいいけども、この報告で大事と思うのは、市民の方が態度が悪い

と思ったから不満に書かれたんでしょ。もし、そのテーブルの録音を聞いてどの議員に対してこの方が思われたか分からないけど、分かるのであれば個別的には注意すべきじゃないかな。

森山喜久委員長 このことについては、名指しはありませんでした。テーブルも、その方が「おまえ態度が悪いじゃないか」みたいな発言は特にはなかったもので、見られて思われて書いてやろうという感じなのかな。

宮本政志委員 テーブルでなのか、あるいは来られたとき帰られるとき、YouTube動画を見ているときかは分からんけど、議員に対して態度の悪い方がいたとかで不満のアンケートが出たってことは問題だと思う。だから、議員を特定できて、その議員が言ったんだということが分かれば、今回も今後も含めて別に公開の場ですることはないけど委員長のほうから「こういう指摘があったよ。注意してくださいね」っていうことは伝えるべきだってこと。

森山喜久委員長 分かりました。このたびは名指しはありませんでしたので、全体的な部分での周知とさせていただきたいと思います。ちなみに宮本委員はアンケートの集計結果は分けるか、一本化にするということに関してはどうですか。

宮本政志委員 今は、付議事項3番の集約結果でしょ。これはあくまで資料を出してのことについてでしょ。その意見を言われたのは、6番の議会カフェのときにアンケート云々ということも出ると思ったのであえて言わなかった。

森山喜久委員長 訂正をお願いします。付議事項の「集約」を「集計」に訂正してください。集計結果の内容につきまして、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、内容につきましてはこれで行きます。ここで、暫時休憩します。

午前 11 時 15 分 休憩

午前 11 時 24 分 再開

森山喜久委員長 それでは暫時休憩を解きまして、再開いたします。それでは 4、これまでの議会モニター意見交換会のまとめということで、令和 4 年 7 月から現在までの件になります。これにつきましては、枠組み、フォーマットを示させていただいておりますが、開催日、モニターからの意見、議会の考えと対応、そのときの状況とその後議会がどのような対応をしてきたのかという形で取りまとめていきたいと思っておりますので、これについて皆さんからの御意見を頂けたらと思います。どうでしょうか。

宮本政志委員 このフォーマットでいいんじゃないですか。異議はありません。

森山喜久委員長 ほかの皆さんもよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、このフォーマットで取りまとめをさせていただいて、次回の委員会で示していきたいと思えます。

宮本政志委員 その示し方ですが、令和 4 年 7 月からだからかなりのモニターの御意見というのは今まであったよね。一応その中でまだ回答ができてないところっていうのを分かりやすくまとめてくれて、それをこのフォーマットは議決が取れたわけなので中に入れ込んでスピード感を持って、今後の委員会で議論していきましょう。

森山喜久委員長 今までの項目含めれば、大体 80 項目近くなりますので、そちらを取りまとめて示していきたいと思えます。ただ、状況といたらあれなんですけど、一旦回答してこちらとしても一応終わったつものものも半数近くあると思えますので、そちらを含めて一旦出したほうがよろしいでしょうか。それとも、例えば、「検討してます」とか「協議

してます」っていうところのその後の展開も含めて全て一遍出すか、それとも、一旦終わったっていうところであればそれを省いた中で協議すべきものとして出したほうがいいか。その辺を検討、協議をさせてもらえたらと思いますが、いかがでしょうか。特に一遍全部出しますかどうかでしょうか。

奥良秀委員 モニターの意見の中では、「できたものも出してほしい」と。何ができて、何ができてない、何が検討中かという話があったので、できたものも入れたほうがいいと思います。

森山喜久委員長 意見を頂いたんですが、その中でこちらのほうでは、終了したもの、協議、検討中のものも含めてそれらを踏まえた中で一旦全部お出しするという形で、先ほど言われましたようにスピード感を持って示していきたいと思いますので、そちらでよろしいでしょうか。

中島好人委員 検討中もですけども、ただ「検討中」だけでは、どうかと思う。こういうことで検討してるという状況も可能な限り付け加えられるといいかなというふうに思います。

森山喜久委員長 そうですね。状況で検討を含めてその後どうなったのかというところも記載しながら、示していきたいと思います。

宮本政志委員 そうすると、確かに、令和4年7月からのモニターの任期が始まったときからのまとめですから、奥委員が言われるように全部を載せるっていうのは、私も賛成です。中島委員が言われたのは、その中でまだ、きっちり回答が終わってない部分に関して、少し詳細も分かればってことっていうのはそのとおり。フォーマットもこれでいい。未回答について議論していくわけでしょ。であれば分かりやすく色をつけてもらうとかすると市民の方も資料を見られたときに見やすいと思うのでお願いします。

森山喜久委員長 分かりました。マーキングも含めて、皆さんに見えるようにしていきたいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、付議事項４は確認できたというふうに認識します。では、５の１２月定例会の議会モニターとの意見交換会についてということで、開催方法、日程になります。先ほど確認してもらいました９月定例会のモニター意見交換会はモニターに集まっていたいただいて、１回でさせていただきましたが、その中での気づきを含めてどのようにしていったらいいかということの御意見を頂けたらと思います。

藤岡修美委員 ９月定例会のようにある程度日程を絞ってやったほうが効率的です。１回でやられたほうがいいかなと思います。

森山喜久委員長 前回と同様に１回でということですね。

宮本政志委員 前回で少し私が反省したのは、一部のモニターが意見をたくさん言われて、個別にやっていたときに割と意見をおっしゃっていたモニターがほとんど意見を言われなかったっていうのを見た。そのときに、たまたま御意見がなかったのか、多くの発言時間を占められたモニターの意見と同じだったから発言しなかった可能性もあるんだけど、もう少し反省点としたらやはり前回のように一度にやるっていうよりは、前々回で何回かに分けてやったほうが、いいんじゃないかなというのを前回のようにやったことでの反省点として感じているんで、一度にやるのはどうかな、よろしくないなとは思ってます。

森山喜久委員長 それぞれ意見が出ましたが、ほかの方はどうでしょうか。

前田浩司副委員長 宮本委員がおっしゃられたように、１回の開催でどうだったのかっていうことを聞くのもいい機会なのかなということでは、宮本委員の言われるように、もとのやり方もいいのかなと思いました。

森山喜久委員長 それは、もとに戻して、皆さん1回にこだわらずということなんですか。一人一人とやるわけではないんだけど日程調整して、まとまったところでやっていくという意味ですね。前回は1回しかしなかったのということです。

宮本政志委員 参加の人数は前回とその前3回やったよね。あえてちょっと人数の変化とあった。1回でやったときは4人か5人でやったよね。3回に分けたときは何人か。3回に分けたほうが多かったんかな。その辺り分かるかな。

森山喜久委員長 以前の分は、10人を超えることはなかったんですけど、前回の7人よりも多く、8人とか9人とかそういう参加状況だったので、個別にやられたほうがモニターとの意見交換は、参加人数は多かったという実績にはなります。その他の議員で御意見はありますか。

奥良秀委員 宮本委員から、もしかすると意見が言いにくいところがあったのではというお話しがあるのであれば、前に戻して回数は後ほど決められると思いますので、複数回やられたほうがいいのかと思います。

中島好人委員 従来でしたら、モニターが少なくとも1回に2人とか1人の中で、議員のほうが多いようなときもあったんですけども、やはり前回の1回だったですか、昼間に仕事をしている人もおるかも分からんけど、午前とか午後っていうか、昼間と夜の2回かなあと思っています。ただ、そういう方法がいいかなあと思ったんですけども。前回は1回だったんで、集中されたんですけども、昼間に都合が悪い、だから、午前と午後の2回ぐらいが適当と思っています。

森山喜久委員長 改めて言いますが、前回のほうも、午前と午後、夕方の3回の3日間の日程で示させてもらってます。その中で参加できるところで2人とか3人のところであれば、そういったところを分散しながら最

大数が出るような体制を取らせてもらったのが、前々回までです。前回は、その中で最大集まれる日を1回決めさせていただいて開催した。その結果で、出られるかなという方も実際は出れなくなっただけですけど最終的に7人での参加になったと。ですので午前、午後、夕方という形で日程調整をさせていただいています。

中島好人委員 そうなると、みんなが最大の人数で来られる日にちを設定しているということでは、藤岡委員の言われるように前回のとおり1回の開催でいいかなとは感じました。

白井健一郎委員 1回のメリットと複数回のメリットはそれぞれ同じぐらいあると思いますが、あえてどちらかというところ、私は前回のよう1回でやったほうが、モニター同士がお互いにどういう意見を持ってるかどうかというのも確認できて、その中での自分の考えも含めて深めることができ、また我々委員も、メリットも大きいと思いますので、1回のほうがいいかなと思います。

宮本政志委員 基本的に、本当はモニター設置要綱とか、うちの議会基本条例をしっかりと読んでもらってどういうお考えかっていうのも大事なかなと思っています。うちの市議会は制度としてモニター制度を持っています。本来なら、モニター全員に議会としたら、御都合のいいときに合わせて意見を聞くべきことなんです。この日にやりますから来てくださって、来られない人いるよね。来られないモニターは、せっかくモニターになってくれているのに、その日に来れなかったら意見を聞かないってわけではないけど、少し荒っぽいなっていうところもあって、なおかつ、1回ですと、さっき中島委員が言われた議員の人数があまりにも多くて、モニターが少なかったら萎縮して意見も言われんないんじゃないかっていうところの懸念も含めて、一度にやったって、ほぼ人数一緒やね。委員とモニターがね。そういうところもあったんやけど、やはりモニターから意見をしっかりと聞こうとする場合は、このあとの方法論の話のときに

も絡むんやけど、やっぱり議会の責任としたらモニター全員に御意見を聞く、こちらに来て意見交換として聞くのが前提で、無理ならお電話で聞いてみるとか、やはりそういうことをしないといけないということを義務と思ってるんで、効率化を図るのではなくて、三度でも四度でもいいから、とにかくモニターに合わせてやっていこうという趣旨で意見を言っている。

森山喜久委員長 補足になりますけれど、確かに前提条件で朝昼晩のこの3日間でどうですかという提案をさせていただきますが、それとは別にこの期間で都合が悪かったらどの日だったらいいですかということも含めて、モニターに流させていただいた結果、前々回6月の定例会の分は9人とか8人とかの参加であったと。時間をずらしても難しいという御回答も頂いたので、そういう状況であったということを申し添えさせていただきます。今言われた意見で言うと3対3となっているのですが、私の意見で言えば、前回やはりモニターの意見の中で、全員から満遍なく意見を頂けなかったかなというふうに認識しております。やはり一人一人の意見を丁寧に扱ったほうがいいのかなという点が、まず一点です。そして先ほど人数も言いましたが、参加のところは一人一人に合わせていったほうが参加人数も増えて意見が多く聞けるのかなと思いますので、前回は1回でやらせていただきましたが、今回は従前に戻して複数回で日程調整をさせていただいて、参加要請をしていくと。モニターの参加は1人とか2人とかのときでも、こちらの人数が多くなってしまうこともあります。そのときは、7人全員がというふうにはならず日程を調整させていただきたい。そのような方向性でしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、従前に戻すということを確認できたと認識しております。日程の案を示させてもらってもよろしいでしょうか。他市からの行政視察等も入ってますが、1月15日、16日、17日の水曜日、木曜日、金曜日で取りあえず日程の提案を午前、午後、夕方という形で提示させていただいて、なおかつ、その期間が駄目であれば、それ以外の曜日で可能な日程でどうでしょうかと

いう形でモニターに投げかけをしていきたいと思いますがどうでしょうか。

宮本政志委員 あくまでも、15日、16日、17日のその日にちをここで決定というわけじゃなくて、それを前提として、モニターの御都合を聞いていこうということですね。私はそれでいいと思います。

森山喜久委員長 その辺りでモニターと日程調整させていただけたらと思います。それでは、モニター意見交換会について全般にわたってありますか。

中島好人委員 この参加は広聴特別委員会全員とモニターってなるんですか。こちらの委員の体制は全員なんですか。

森山喜久委員長 今、言いましたように15日、16日、17日の午前、午後、夕方のところではモニターと日程調整はさせていただこうと思います。その中で、1人とか2人のときもあるかもしれませんが、そのときは、7人全員が参加するようなことはしません。少人数で対応していきたいと思いますので、3日間で都合悪くて、例えば、翌週の24日がいいよというふうな御意見もあるかもしれませんが、取りまとまった時点で皆さんにも、示して調整をさせていただきたいと思ってます。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、5の付議事項終わりました。次に、6の12月定例会の議会カフェについてになります。こちらの開催方法について、皆さんから御意見を頂けたらと思いますがいかがでしょうか。

宮本政志委員長 開催方法は、気をつけないと、もし、また団体が云々なるとこの日程調整まで一緒にできんよね。だから、従来型の交流センターとか、Aスクエアとか、文化会館とかで、例えば、4回やりましょうと言って、従来型なら、「日程どうしますか」やけど、この開催方法で日程はあとで、今日決められるかは微妙よね。開催方法に関しましては、条

例と実施要綱とそれぞれありますけど。条例は2回だけど、実施要綱は原則毎定例会後ということで、条例はクリアしてます。今回は12月定例会なんで、前回のときの小野田青年会議所と、山陽と小野田の商工会議所のそれぞれの青年部の3団体か。それと2か所で開催かな。この青年部、青年会議所に関しても議会報告をやってますからね。単なる意見交換だけじゃないんで、議会報告会としては5か所でやったってことなんだよね。だから、きっちり議会報告という意図があるんだからそこを守って、前回と同じように会場を設けるか、もしくはもう全て団体に絞ってやっていくかという論点で進めていってほしいなと思います。

森山喜久委員長 そのような意見がありました、皆様はどうでしょうか。先ほど宮本委員のほうから従来どおりか会場を設けるか、また、団体との意見交換を進めていったらどうかというふうな御意見がありました、どうでしょうか。暫時休憩いたします。

午前11時49分 休憩

午後0時3分 再開

森山喜久委員長 暫時休憩を解きまして、委員会を再開いたします。先ほど、宮本議員から出た意見で、議会カフェにつきまして前回どおりの2会場プラス団体にするのか、団体としていくのかというふうな意見だったと思いますが、その他の委員の意見を頂きたいと思います。

奥良秀委員 私も前回と同じように、2会場と2団体ということで、2会場の場合は地域的なところで今度は1日で昼と夜でやったと思うんですけど、それを地域ごとにまた昼と夜を変えていただいてやっていただければと思います。

森山喜久委員長 同じように前回の2回プラス団体というふうな御意見があり

ましたが、よろしいでしょうか。

中島好人委員 私もそうでいいと思います。

森山喜久委員長 それでは、2会場プラス団体という形の方向性でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それで、今の2会場につきましては、候補としましてAスクエアと不二輸送機ホールで、それを昼と夜を前回と変えていきたいというのが奥委員の意見だったと認識しておりますが、その辺も含めて、施設が空いているかどうかの確認もあるので日程調整をさせていただきます。Aスクエアと不二輸送機ホールを第1候補としながら、日程調整をさせてもらえたらと思います。そのことについて、委員長に一任するということでした承を得たいと思いますが、いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、それについて日程調整をさせていただきます。2会場につきましては、1月の末か2月の初旬で日程調整をさせていただきますがそれでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）団体についてですが、候補の関係もありますが、こちらについても委員長に一任していただいて、私のほうでその団体に当たらせてもらって日程調整をさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

宮本政志委員 全て委員長一任だったら大変でしょうから、委員もこういう団体でどうかっていうことがあれば、委員が確認を取るなり、委員長に相談するという方向で、委員長のほうで調整されたらいいんじゃないですか。

森山喜久委員長 各委員も団体も当たっていただきながら、最終的に私のほうで取りまとめをしながら調整をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）2回プラス団体で1月の下旬から2月の初旬での議会カフェの開催ということで、そして団体につきましては個別に日程調整をさせていただくということを決めました。それでは、12月定例会の議会カフェについて、その他皆さんから

ありますか。議会カフェ全般ですが、よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、7のその他になります。皆さんのほうから御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、ないということです。それでは以上をもちまして広聴特別委員会を散会いたします。

午後0時7分 散会

令和6年（2024年）12月17日

広聴特別委員長 森 山 喜 久